

元根井地区集出荷施設整備事業

(小松島漁業協同組合)

背景・課題

小松島漁業協同組合では、漁獲したハモを中心とした活魚や加工品の販売を行っている中、水揚げ場である「元根井地区」に集出荷施設がないため、集出荷の作業効率が悪く、漁獲物の鮮度低下が課題となっていた。

補助内容

- ◆対象期間：平成29年度
- ◆補助対象：集出荷施設、活魚水槽冷却装置
- ◆補助金額：1,600万円

主な取組

- ◆「元根井地区」に水揚げから集出荷まで一元化し、作業効率化を図るため、集出荷施設を整備。漁獲物を午前中に市場出荷できる体制を構築。

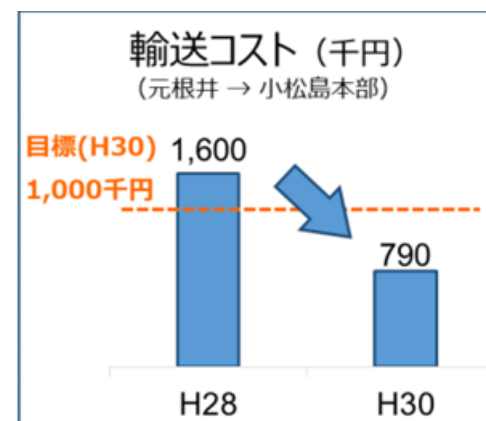


- ◆活魚の生残率を向上させるため、活魚水槽用の冷却装置を導入。搬送ラインを用いて、カゴごと活魚配送車へ積載。



主な成果目標の達成状況

- ◆輸送コストが目標以上に削減されるとともに、これまで出荷できなかった関東市場への販路開拓につながった。



<小松島漁協のハモの特長>

- ◆漁獲量(R1)：73トン※
※県内漁獲量の約6分の1に相当
- ◆主な出荷市場
京阪神市場、関東市場
- ◆氷結晶を抑える「プロトン凍結」により品質が向上した冷凍加工品は、県内外市場から高い評価

今後の取組

- ◆整備した集出荷施設を活用し、ハモを中心とした高品質の漁獲物や水産加工品の販売拡大を図る。